

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート			作成日	平成27年	6月	10日			
事務事業名	家庭教育学級開設事業				事業類型	管理・運営	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	家庭教育学級開設事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭教育力の向上を図る。市立保育所、幼稚園、小中学校が保護者を対象に、24学級を開設し、年間5～7回程度の学習(学級毎)と、合同学習会を年2回開催する。 【学級内訳】・市立保育所1。幼稚園6。小学校9。中学校5						【業務内容】 ・学級開設の指導・合同学習会の企画、開催・運営補助金の交付に伴う事務					

1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者						人	5,017	4,975	4,751	4,700	4,700	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催						説明会の開催回数	回	1	1	1	1	1
						開設した学級数	学級	24	23	21	21	21
						合同学習会の開催回数	回	3	3	3	3	3
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭教育力の向上につなげる。						学級講座に参加した者の延べ人数	人	6,600	6,023	5,500	5,500	5,500
						講座の開催回数	回	166	164	150	150	150
(2) 投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,959	1,846	1,926	1,926	1,926	1,926	0	0	
事業費計(A)		千円	1,959	1,846	1,926	1,926	1,926	1,926				
人件費	正規職員	千円	1,630	0.31人	1,867	0.29人	1,867	0.29人	1,867	0.29人	1,867	0.29人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	1,630	1,867	1,867	1,867	1,867	1,867				
投入量(A)+(B)		千円	3,589	3,713	3,793	3,793	3,793					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも行うことで、子供の親に対する見方、考え方、親と子供の接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だけれども、実施して振り返ってみると大変有意義であったし、よい経験になったとの声を聞く										

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか? また、取り組み後どのように変わりましたか? 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか?	(前回最終評価)	(予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 平成26年度は、講座を目途である7回開催した学級もあり、家庭教育の向上を図った。 (削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか? ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか? ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 少子化・核家族化により、子育てについての相談者や機会が少なくなっている。そのため市が、保護者に家庭教育の重要性について学ぶ機会を与えることが必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか? ●成果が一部の対象者に限定されていませんか? ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか?	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市立の保育所・幼稚園・小学校・中学校すべてに学級を開設。講座の開催状況は目途としている5~7回実施している。今後、さらに内容の充実と参加者の増について努力していく。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか? ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。家庭教育の重要性を考えれば、市が継続して実施すべきである。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか? ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか? ●事業目的にそぐわない支出はありませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、講師謝礼や保険代、必要な資料消耗品であり削減は難しい。人件費については、補助事務や開級式・合同学習会準備等々あるが、必要最小限となるよう努力している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか? ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市費は、講師謝礼等の全体に係る経費を支出しており、学級生にかかる部分は個人負担としている。

### 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																	
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 平成27年度より家庭教育学級の学習方法を、4月から小中一貫教育も始まったことにより、学園ごとに合同で実施することにより学習内容の向上を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下		×
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成果	向上	○																
	維持		×															
	低下		×															
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) これまでの事業内容を継続しつつ、小中一貫教育を推進する学級内容、学級開設を検討する。	※担当部長が記載																	
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	10日			
事務事業名	成人式開催事業			事業類型	イベント・行事・各種講座教室等						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G		記入者氏名	赤津 雄史						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 01	事業名 成人式開催事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。				【業務内容】 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の検討や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。							
【会場】 ・平成22年度 センチュリー・プラザ											
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
その年度に二十歳になる新成人			成人者数	人	607	582	550	530	530		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催			実行委員募集通知の発送件数(次年度成人者も募集)	通	1,086	1,050	1,003	1,000	1,000		
・式典の開催			実行委員会の開催数	回	8	8	8	8	8		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。			成人式に参加した割合	%	78.1	76.1	80.0	80.0	80.0		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,231	2,260	2,507	2,507	2,507	0			
事業費計(A)		千円	2,231	2,260	2,507	2,507	2,507	0			
人件費	正規職員	千円	2,482	2,462	2,462	2,462	2,462	0.46人	0.55人		
	正規外職員	千円	180	180	180	180	180	0.10人	0.10人		
	人件費計(B)	千円	2,662	2,642	2,642	2,642	2,642	0			
投入量(A)+(B)		千円	4,893	4,902	5,149	5,149	5,149	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			国民的な行事であり、成人の健やかな心身の成長と、社会人としての門出を祝福するため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			那珂市においても少子高齢化が進行している。さらに、進学・就職等により市外へ移住する成人者が多くなっている。将来に向けてまちの活力を維持するためにも、若い世代の定住を促す取り組みが必要となっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			一部の市民から、昨今の市の財政状況を憂慮して、貴重な財源を使うことについて、反対の意見が寄せられている。一方で、行政による成人式の開催は当然のことと思われる。								



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	11日
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	補助事業	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 01	事業名 各種団体補助事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。				【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。 本年は、「国民文化祭あきた2014」横手市開催事業への協力依頼を受け、出演団体等に対する派遣経費を含む。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
文化協会及び市民	人口	人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
	補助団体数		3	3	3	3	3
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
文化振興事業・講座・文化祭の開催	文化振興事業・講座数	事業	8	8	9	10	10
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進	文化協会加入数	人	981	943	873	900	900
	文化振興事業・講座・文化祭への参加者数	人	3,798	4,458	4,500	4,500	4,500
(2)投入量の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,585	4,850	4,515	4,515	4,515
	事業費計(A)	千円	4,585	4,850	4,515	4,515	4,515
人件費	正規職員	千円	2,956	5,037	5,037	5,037	5,037
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	2,956	5,037	5,037	5,037	5,037
投入量(A)+(B)		千円	7,541	9,887	9,552	9,552	9,552
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図る。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	協会全体で高齢化が進んでいる。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	なし						

(4)前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 文化祭は両会場に行くきっかけづくり、文化振興事業において気軽に参加できる出演者を選んだことにより、参加者が増加した。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
--	---	--	--

2 評価の部(SEE)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化協会は市民組織であるが、芸術文化の振興に関し統括的に行っていく上では、市が関与することは必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 協会内部で協議し、随時必要な事業を見直して実施するなどして展開している。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。生きがいでづくり、生涯学習の推進のためには必要な事業である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化振興事業や講座・文化祭などの諸経費について、適切に補助している。また、人件費については各団体への補助、運営の指導など必要最小限の事務を行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 各団体の活動費は会費で運営している。文化振興事業などは参加者から入場料を、講座は実費を徴収している。

3 計画の部(PPLAN)

(1)1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) →  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善  
 公平性の改善  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)  
文化協会の活動強化のためにも会員の加入促進、各種文化活動への市民の参加者の増加と活性化を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2)2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
文化協会の活動強化のためにも会員の加入促進、各種文化活動への市民の参加者の増加と活性化を図る。

(3)外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

(4)3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	10日			
事務事業名	青少年育成事業				事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	青少年育成事業	根拠法令	社会教育法
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進 主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援						<b>【業務内容】</b> 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市内在住の青少年	市内の青少年数(0～19歳)	人	9,889	9,701	9,604	9,550	9,500	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式展の開催による青少年育成事業の推進。高校生会員の募集。	開催事業件数(大会や式典等)	件	7	8	7	7	7	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
青少年の健全育成にかかる団体が連携し、次代の担う青少年の健全育成を図る。	単位子ども会数	団体	87	75	72	72	72	
	不良行為少年補導件数	件	80	159	150	150	150	
	青少年団体会員数	人	1,811	1,642	1,595	1,550	1,550	
	青少年団体加入率(子ども会)	%	62	57	56	60	60	
(2)投入量の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	517	926	910	910	910	0
事業費計(A)	千円	517	926	910	910	910	0	
人件費	正規職員	千円	4,950	0.97人	5,287	0.94人	5,287	0.94人
	正規外職員	千円	390	0.25人	390	0.25人	390	0.25人
	人件費計(B)	千円	5,340	5,677	5,677	5,677	5,677	
	投入量(A)+(B)	千円	5,857	6,603	6,587	6,587	6,587	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	少子化・核家族化などにより子どもを取り巻く環境が悪化し、子どもたちの自主性を育てる活動支援や子ども会の脆弱化に伴い、子ども会会員相互の親睦や情報交換並びに地域リーダーの養成を図ることが急務となった							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・子どもたちや保護者の多様化により子ども会活動に対する考え方が変わってきている。・市民会議事業については、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加してもよい経験になったという意見も寄せられている。特に、役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしい							

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>県や青少年関係団体と連携を図りながら「少年の主張大会」を開催した。</p>			
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円         </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円         </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし         </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円					
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円					
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし					

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
<b>目的 妥当性 評価</b>	① 市関与の妥当性 <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？</p>
<b>有効性 評価</b>	② 成果の向上余地 <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>
<b>効率性 評価</b>	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>
<b>公平性 評価</b>	④ 事業費や人件費の削除余地 <p>●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>
<b>公平性 評価</b>	⑤ 受益者負担の適正余地 <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 継続    → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →</li> <li style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定    <input type="checkbox"/> 有効性の改善    <input type="checkbox"/> 効率性の改善  <input type="checkbox"/> 公平性の改善         </li> </ul> </div> <div style="width: 55%; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px; margin-left: 10px;"> <p>※担当課長、グループ長、担当者が記載</p> </div> </div>	<div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">         改革・改善による期待成果         <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">コスト</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">削減</th> <th style="text-align: center;">維持</th> <th style="text-align: center;">増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="width: 30px;"></td> <td style="width: 30px;"></td> <td style="width: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table> </div>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○	×	×																		
	低下	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <p style="text-align: right;">※担当部長が記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続    ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続    ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	10日		
					点検日	平成27年	11月	12日			
事務事業名	ふるさと教室開設事業				事業類型	イベント・行事・各種講座教室等					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G		記入者氏名	赤津 雄史					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る								
	基本事業名		2 健全育成の推進								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令					
		09	05	03	ふるさと教室開設事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和59年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 市内小学生4・5・6年生を対象に、異年齢・異学校の子供たちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。					<b>【業務内容】</b> 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
小学校4～6年生				小学校4～6年生							
				人							
				1,520							
				1,498							
				1,438							
				1,420							
				1,400							
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
教室の開設				開催した教室の延べ回数							
				回							
				15							
				16							
				15							
				16							
				16							
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養い、もって活力ある青少年を育てる。				教室に参加した延べ人数							
				人							
				519							
				523							
				540							
				540							
				540							
				教室に参加した実人数							
				人							
				110							
				114							
				100							
				120							
				120							
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	83	83	83	0			
	一般財源	千円	567	654	1,464	1,464	1,464	0			
	事業費計(A)	千円	567	654	1,547	1,547	1,547	0			
人件費	正規職員	千円	6,550	1,25人	7,776	1,57人	7,776	1,57人	7,776	1,57人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	6,550	7,776	7,776	7,776	7,776	7,776			
	投入量(A)+(B)	千円	7,117	8,430	9,323	9,323	9,323				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		子供たちが日ごろできない体験学習の場を提供することにより、社会性に富んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		人間関係の希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下、さらには、青少年の健全育成を阻害する有害な情報の氾濫など、その社会環境は大きく変化している一方、こども集団をつくって遊ぶ機会や場所が減ってきた。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		毎年申し込む子どもも多く、カリキュラム内容について、新規要望が寄せられる。									

<b>(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>									
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円								
0	千円								
0	千円								
0	千円								

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多くの体験や友達との交流を通して、子どもたちの健全育成することを市が行うのは妥当である。
	有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？
効 率 性 評 価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に代わる事業はなく、今後も子供たちの健全育成のため必要な事業である。
	公平性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師謝礼及びバス移動を伴う教室のバス賃借料は、市で負担しているが、その他の施設利用料、材料費及び保険代等は、個人負担としている。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 → ■ 見直し(改革・改善) → <table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td rowspan="2">■ 有効性の改善</td><td rowspan="2"><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td></tr></table> □ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	■ 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																			
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	■ 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																						
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 近隣市町村等を参考にしながら、新たなプログラムを模索し、実践化し成果を向上させる。		改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="3">成果</th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr></thead><tbody><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td></tr></tbody></table>	成果	コスト			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	向上			<input checked="" type="checkbox"/>	維持			<input checked="" type="checkbox"/>	低下			<input checked="" type="checkbox"/>
成果	コスト																							
	削減	維持		増加																				
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
向上			<input checked="" type="checkbox"/>																					
維持			<input checked="" type="checkbox"/>																					
低下			<input checked="" type="checkbox"/>																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																						
□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 ( ■ 見直し □ 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 新たなプログラムなども取り入れながら成果の向上を図る。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 ( ■ 見直し □ 現状維持 ) ・ 郷土愛とうたっているのに、活動が市外が多いのではないか ・ 事業費がかかりすぎているのではないか ・ 事業自体を外部団体にお願ひできないのか ・ 現在の成果指標では、成果を示すものではない																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 ( ■ 見直し □ 現状維持 ) 平成28年度より、以下のとおり見直す。 ・ 市内でできる活動を多く取り入れる。 ・ 事業費については、市内の活動を増やすことによるバス代の削減、ボランティアの人数を増やし、人件費の削減に努める。 ・ これまで以上に、いろいろな団体・企業等に働きかけ、プログラムに取り入れる。 ・ 成果指標については、この教室を経験しよう変化したのかを示せる質問をアンケートに加え、より良い成果指標を取り入れる。																								

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	10日			
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	補助事業	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	赤津 雄史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	各種団体補助事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。						<b>【業務内容】</b> 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」	補助団体数	団体	2	2	2	2	2	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付	補助金総額	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。	開催事業数	回	7	8	7	7	0	
	青少年団体会員数	人	1,811	1,642	1,595	1,550	1,550	
	青少年団体加入率(子ども会)	%	62	57	56	60	60	
(2)投入量の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費	
事業内費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	
	事業費計(A)	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	
人件費	正規職員	千円	4,144	0.81人	4,656	0.90人	4,656	0.90人
	正規外職員	千円	390	0.25人	390	0.25人	390	0.25人
	人件費計(B)	千円	4,534	5,046	5,046	5,046	5,046	
	投入量(A)+(B)	千円	5,604	6,116	6,116	6,116	6,116	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	青少年育成団体が行う事業活動に対して自主性を尊重しつつ助成を行い、本市の青少年育成活動の一層の発展を図るため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	活動内容が定着化してきている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	球技大会で行うキックベースボールの代替種目の選定。							

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>平成25年度から実施している「あいさつ声かけ運動」において、昨年はさらなる呼びかけをし、昨年度は全地区で実施し、青少年育成団体の参加者も大幅に増えた。</p>															
		(予算への反映) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</li> </ul>
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</li> </ul>
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</li> </ul>
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</li> </ul>
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</li> </ul>

3 計画の部(PLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定    <input type="checkbox"/> 有効性の改善    <input type="checkbox"/> 効率性の改善 }  <input type="checkbox"/> 公平性の改善</li> <li>→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</li> </ul>	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul> 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 現状維持とする。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	3日
事務事業名	スポーツ教室開設事業				事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	鈴木 教彦				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名	2 生涯スポーツ活動の支援						
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 01	事業名 スポーツ教室開設事業	根拠法令	スポーツ基本法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者までスポーツを楽しみながら市民の健康増進に貢献する。				【業務内容】 募集、受付、教室開講事務、契約等事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施	延べ開催数	回	889	933	993	993	933	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。	延べ参加者数	人	16,577	19,638	28,960	28,960	28,960	
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費
事業内 費 財 源 地 方 債 の 他 一 般 財 源 事 業 費 計	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10,590	12,366	12,978	12,978	12,978	0
	一般財源	千円	5,189	3,898	4,398	4,398	4,398	0
	事業費計(A)	千円	15,779	16,264	17,376	17,376	17,376	0
人 件 費	正規職員	千円	1,000	1,803	1,617	1,617	1,617	
	正規外職員	千円	2,456	1,362	1,362	1,362	1,362	
	人件費計(B)	千円	3,456	3,165	2,979	2,979	2,979	
投入量(A)+(B)		千円	19,235	19,429	20,355	20,355	20,355	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	継続して参加する方が多く教室のマンネリ化が指摘されている。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。							

<b>(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 市民の意向を把握し、ニーズに沿った教室の企画をした。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td><td style="width: 30px;">千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td><td style="width: 30px;">千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	千円	0	千円	(人件費)	0	千円
0	千円											
(人件費)	0	千円										
0	千円											
(人件費)	0	千円										

<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>	
<b>目的妥当性評価</b> ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツをするきっかけづくりとして、教室を開催しており幼児から高齢者まで対象に合わせた教室を企画しているため妥当である。
<b>有効性評価</b> ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツが多種多様化している現在、ニーズを把握し新しい教室を実施することにより成果の向上を図ることができる。
<b>評価</b> ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。スポーツをするきっかけづくり、健康増進の役割を果たしているため廃止・休止できない。
<b>効率性評価</b> ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、指導者謝礼や教室委託料が大部分をしめているため削減は難しい。人件費についても、最低限のスタッフで受付などの事務を行っているので削減は難しい。
<b>公平性評価</b> ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 参加者から受講料を徴収しているため受益者負担は適正である。

<b>3 計画の部(PPLAN)</b>																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) アンケートや近隣市町村の状況を調査したうえで、市民の求めるスポーツ教室となるように随時見直しを行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市民が望む、参加しやすいスポーツ教室を開催し、スポーツに接する機会の拡大を図る。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	3日		
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	管理・運営					
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小池 裕樹						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						
	施策名				3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名				1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法				
		09	06	01	学校体育施設夜間開放事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体への夜間開放する。					<b>【業務内容】</b> 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民				人口		人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市内小中学校の体育館・武道場の開放				学校体育施設の開放校		学校	16	15	15	14	14
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。				利用団体数		団体	98	100	94	94	94
				利用者数		人	1,670	1,601	1,522	1,522	1,522
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	1,009	769	1,059	1,059	1,059	0			
人件費	正規職員	千円	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	0			
	正規外職員	千円	90	402	402	402	402	0			
	人件費計(B)	千円	1,552	1,864	1,864	1,864	1,864	0			
投入量(A)+(B)		千円	2,561	2,633	2,923	2,923	2,923				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。								

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 県内市町村の夜間開放事業について調査し、今後の在り方について(有料化含む)引き続き検討していく。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
<b>目的妥当性評価</b> ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないですか？ ●市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域の身近な体育施設である学校体育施設を開放することにより、スポーツをする機会を提供し健康増進、地域住民の相互の親睦を図る。
<b>有効性評価</b> ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 年々利用団体が増加しており、施設の空きが少なくなっているためこれ以上の成果の向上は期待できない。
<b>有効性評価</b> ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がなく、廃止・休止することは地域住民のスポーツ推進・住民の親睦・健康増進が図れない。
<b>効率性評価</b> ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、体育施設の照明・運動用具等の消耗品費のため削減するとスポーツ活動に支障がでるため削減できない。
<b>公平性評価</b> ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 夜間開放による学校体育施設の利用は無料のため、他の施設利用団体との受益者負担の公平性に欠けている。

3 計画の部(PLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 現在利用料金が無料のため、公平性に課題があり有料化を考えていく必要がある。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 各種施設の使用料等の減免規定の見直しに合わせて有料化することで検討する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	2日		
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助事業					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	鈴木 教彦					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える								
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援								
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 01	事業名 団体補助事業	根拠法令	スポーツ基本法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部によって、各種大会及び関連事業を開催している。具体的には、市民総参加によるスポーツの振興事業として、地域での運動会、球技大会(ソフトボール、バレーボール等)を開催している。また、「体力増進」事業として、歩く会等を開催している。他にも「競技力の向上」事業として、バレーボール連盟や野球連盟による各種大会を開催している。					【業務内容】 各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
那珂市体育協会加盟団体			加盟団体数(協会・連盟)	団体	18	19	19	19	19		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
まちづくり委員会が設立され、支部組織がなくなったが、地区対抗の球技大会を開催。スポーツ少年団、各種連盟等の競技団体において各種大会・教室を開催。			大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	23	21	19	19	19		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。			連盟登録人数	人	2,175	2,394	2,450	2,450	2,450		
			少年団登録人数	人	870	830	800	800	800		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	6,536	6,677	7,118	7,118	7,118	0			
事業費計(A)		千円	6,536	6,677	7,118	7,118	7,118	0			
人件費	正規職員	千円	11,386	2.05人	11,370	2.05人	10,440	2.05人	10,440	2.05人	
	正規外職員	千円	1,260	0.70人	1,338	0.75人	1,338	0.75人	1,338	0.75人	
	人件費計(B)	千円	12,646	12,708	11,778	11,778	11,778	11,778			
投入量(A)+(B)		千円	19,182	19,385	18,896	18,896	18,896	18,896			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			合併によりさらに団体数、大会数が増大したこと、スポーツ団体の増加に伴い大会事業も増加している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。								

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	体育協会の自立(法人化)に向けて課題等を整理していく。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 体育協会は、スポーツ振興の中心となって活動する団体であり、市民自らによるスポーツの推進のため、行政が支援することは必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 大会・イベント等の開催にあたり、体育協会事務局や加盟団体が連携し、魅力ある事業を広く開催して行えば、加盟団体数人数を増やすことができ、成果を向上させることができる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。また、市民の健康増進のために数多くの事業を展開しており、廃止をすればスポーツの推進を阻害するとともに、市民の運動する機会が減り、健康増進へと繋がらない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は大会等の運営費であり、事業費削減を行えば参加費等の負担増になり、体育活動の意欲を削ぎ、スポーツの推進のマイナス要因となる。人件費は、体育協会の法人化により可能となる。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 歩く会、スキー・スノーボード教室等の事業は、参加費を徴収して実施しているため公平だと考える

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了    廃止    休止    統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定    有効性の改善    効率性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

公平性の改善

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

体育協会の運営を教育委員会が全般を行うのではなく、体育協会が自ら自主活動が行えるよう組織体制を切り替える。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

体育協会の運営を教育委員会が全般を行うのではなく、体育協会が自ら自主活動が行えるよう組織体制を切り替える。自主財源の確保のため会費の徴収を検討する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	5日		
事務事業名	体育施設管理事業				事業類型	管理・運営					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育G		記入者氏名	諸藤 慎一					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える								
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実								
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名 体育施設管理事業	根拠法令	体育施設設置管理条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 グラウンド(神崎、戸多、木崎)・テニスコート(神崎)・ふれあいの杜公園(多目的広場、芝生広場、テニスコート)、瓜連体育館施設の管理事業					【業務内容】 総合公園施設以外の体育施設の維持管理及び緑化管理を行う。(ふれセンごだいの芝の管理を含む)						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
建物、グラウンド、機械			建物数	棟	5	4	4	4	4		
			機械数、グラウンド数	箇所	7	6	6	6	6		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
各施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、緑化管理(除草)			除草作業	回	4	3	3	3	3		
			保守点検整備	回	3	3	3	3	3		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、市民が安全かつ快適にスポーツを楽しむことができる。			不具合発生	件	3	2	3	4	5		
			修繕件数	件	5	2	3	4	5		
			利用者数	人	41,461	45,354	45,000	45,000	45,000		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	1,222	1,635	1,194	1,194	1,194	0	0		
	一般財源	千円	10,461	8,510	10,409	10,409	10,409	0	0		
事業費計(A)		千円	11,683	10,145	11,603	11,603	11,603	0	0		
人件費	正規職員	千円	2,480	4,150	1,100	1,100	1,100	0.40人	0.20人		
	正規外職員	千円	2,129	1,585	2,068	2,068	2,068	1.60人	1.60人		
	人件費計(B)	千円	4,609	5,735	3,168	3,168	3,168	0.20人	1.60人		
投入量(A)+(B)		千円	16,292	15,880	14,771	14,771	14,771				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		各体育施設の建設に伴い、施設管理が始まった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		施設の老朽化により、修繕箇所が増加しつつある。 (しかし、毎年限られた予算の中での修繕を執行しているため、修繕を後年に先送りしている状況)									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		各施設の整備、修理の要望がある。									



評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート			作成日	平成27年	6月	5日			
事務事業名	総合公園管理事業			事業類型	管理・運営						
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育G	記入者氏名	諸藤 慎一						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 04	事業名 総合公園管理事業	根拠法令	都市公園条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 スポーツの推進と健康増進のために、総合公園施設を維持管理し市民に開放する。				【業務内容】 総合公園施設の維持管理、緑化管理							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
建物、機械、グラウンド			建物数	棟	1	1	1	1	1		
			グラウンド数	箇所	2	2	2	2	2		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
総合公園施設の維持管理(保守点検、修繕、整備)、 緑化管理(除草)			保守点検	回	18	17	19	19	19		
			緑化管理等	回	5	5	5	5	5		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
施設の維持管理、緑化管理を適切に行うことにより、 市民が安全かつ快適にスポーツを楽しむことが出来る。			故障	件	17	15	16	17	18		
			修繕件数	件	22	15	16	17	18		
			利用者数	人	181,705	191,592	190,000	190,000	190,000		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	9,500	10,600	9,900	9,900	9,900	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	10,513	10,836	9,542	9,542	9,542	0	0		
	事業費計(A)	千円	119,083	131,164	143,511	143,511	143,511	0	0		
人件 費	正規職員	千円	4,960	9,850	6,400	6,400	6,400	0	0		
	正規外職員	千円	4,364	1,434	1,807	1,807	1,807	0	0		
	人件費計(B)	千円	9,324	11,284	8,207	8,207	8,207	0	0		
投入量(A)+(B)		千円	148,420	163,884	171,160	171,160	171,160	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		広くスポーツの推進を図ることを目的に、平成6年度に総合公園が建設されたため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか) 開始時期と比べてどう変わりましたか?		建設より約20年が経過し老朽化が進んでいるため、修繕箇所が増加しつつある。 (しかし、毎年限られた予算の中での修繕を執行しているため、修繕を後年に先送りしている状況)									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		施設利用者から、整備・修繕の要望がある。									

<b>(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>光熱水費や委託料等の削減を図った。減免団体等の見直し及び指定管理者制度導入については、引き続き検討していく。</p>				
		(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; width: 40px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li style="padding-left: 20px;">(人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; width: 40px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li><input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; width: 40px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li style="padding-left: 20px;">(人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; width: 40px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</li> </ul>	0	0	0	0
0						
0						
0						
0						

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のスポーツ推進の拠点施設であり、市民の健康増進のためにも必要な施設である。
有効性 評価	<b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設内の設備機器の適切な更新により、修繕箇所の削減が見込まれる。
評価	<b>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</b> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 総合公園以外の体育施設の維持管理を行う体育施設管理事業があり、統合の余地はない。また、類似事業はなく、管理運営上の安全確保等が出来なくなるので廃止することは出来ない。
効率性 評価	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 指定管理者制度の導入により、事業費や人件費の削減が見込まれる。
公平性 評価	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の維持管理に対しては受益者の負担ではあるが、減免規定について全庁的な見直しを進めている。

**3 計画の部(PPLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 光熱水費及び委託料等の削減を図る。減免団体等の見直しを行い使用料金の公平化を図り、指定管理者制度の導入を進めていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下			×																				
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 良好な状態で施設を利用できるよう適正な保守・管理、計画的な整備を図る。光熱水費の削減を図り、照明のLED化を検討する。指定管理者制度導入について検討を進める。施設使用料及び減免については見直しを検討する。																								
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	5日			
事務事業名	総合公園運営事業				事業類型	管理・運営						
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育G		記入者氏名	諸藤 慎一						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業			
	施策名				3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える							
	基本事業名				1 スポーツ環境の充実							
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	04	事業名	総合公園運営事業	根拠法令	都市公園条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
総合公園を会場として様々なスポーツ大会が開催され、市民のスポーツ交流の場として利用されている。						公園運営のため施設の予約・受付・貸出しから使用料の徴収。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
総合公園利用者・市民						那珂市の人口	人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
個人や団体へ施設の予約・貸出し・使用料金の徴収を行う。						利用者ID登録者数	人	3,626	3,808	3,900	4,000	4,100
						電話・窓口による予約率	%	85.0	82.6	81.0	80.0	79.0
						施設稼働率	%	82.5	82.7	83.0	83.0	83.0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が総合公園を使用してスポーツを親しむことにより健康になり、生きがいになる。						施設利用者数	人	181,705	191,592	190,000	190,000	190,000
						うちプール利用者数	人	42,608	44,549	44,000	44,000	44,000
						日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	38.5	47.3	50.0	50.0	50.0
(2) 投入量の推移												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	12,225	8,390	8,701	8,701	8,701	0				
事業費計(A)		千円	12,225	8,390	8,701	8,701	8,701	0				
人件費	正規職員	千円	4,960	5,200	1,100	1,100	1,100	0.80人	0.80人	0.20人	0.20人	0.20人
	正規外職員	千円	6,440	3,968	4,758	4,758	4,758	8.00人	4.00人	4.40人	4.40人	4.40人
	人件費計(B)	千円	11,400	9,168	5,858	5,858	5,858	5,858				
投入量(A)+(B)		千円	23,625	17,558	14,559	14,559	14,559	14,559				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						住民の体力向上と健康増進を図るため、平成6年度にスポーツ・レクリエーションの拠点施設として総合公園が建設された。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						テニスコートの全面改修(震災直後)等により、利用者が多少増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						立地条件は良いが、野球場・屋内温水プールともに規格に足らず公式大会が出来ない。アリーナも観客席が片側しかなく、多目的広場も陸上トラックがありソフトボール等正式競技が出来ない。						

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	近隣市町村施設の運営状況を調査した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の健康づくり、スポーツ推進に大きく寄与しており妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 駐車場が少ないので、大会等が重なると、一般の施設利用者に不便をかけている状況である。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。また、総合公園は、本市のスポーツ推進の拠点となっており、他に代わる施設もなく、健康づくりやスポーツ推進のためにも廃止・休止は出来ない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の経費で運営に努めている。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 施設利用者については受益者負担が原則ではあるが、補助金交付団体や減免団体等があり不公平感があるため、全庁的に見直しを進めているところである。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了    廃止    休止    統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定    有効性の改善    効率性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

公平性の改善

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

総合公園は、スポーツを行う市民にとってなくてはならない施設である。今後は、より多くの市民に利用して頂けるような運営体制や指定管理者制度の導入について検討する必要がある。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入)

より多くの市民等に円滑に利用してもらえるような体制・環境を整備する。管理・運営については指定管理者制度の導入を検討する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	5月	26日		
					点検日						
事務事業名	図書館管理事業				事業類型	管理・運営					
担当部課G等	教育委員会	図書館	図書館管理G	記入者氏名	平野 玉緒						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり							■ 実施計画 対象事業		
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 07	事業名 図書館管理事業	根拠法令	図書館法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地としての図書館を市民が快適に利用できるように維持管理する。					【業務内容】 主な業務は施設の維持管理委託。 事業費は光熱水費、各種設備保守点検や修繕費、施設管理委託費等に支出。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
図書館利用者				利用者数	人	329,775	313,400	320,000	325,000	330,000	
				施設の延床面積	m <sup>2</sup>	3,610	3,610	3,610	3,610	3,610	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の維持管理				施設の修繕件数	件	14	14	13	12	11	
				施設管理の委託件数	件	4	4	4	4	4	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。 施設に関する苦情件数については、H25は集計していないため、未入力。				施設に関する苦情件数	件	0	11	10	9	8	
(2) 投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	10,151	10,227	10,700	9,700	9,700	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	420	444	444	0			
	事業費計(A)	千円	14,326	18,913	15,839	20,976	18,470	0			
人件費	正規職員	千円	7,160	7,630	7,630	7,630	7,630	1,30人	7,630	1,30人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	7,160	7,630	7,630	7,630	7,630	1,30人	7,630	1,30人	
	投入量(A)+(B)	千円	31,637	36,770	34,589	38,750	36,244				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館から8年経過し、また東日本大震災の影響もあり、施設の修繕箇所も増加している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		より安全で快適な施設の提供が求められている。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>安全で快適な環境を提供できるよう施設の適正な保守管理に努めた。</p>															
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"><input type="checkbox"/> 削減(事業費)</td> <td style="width: 10%; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td style="width: 30%;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加(事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育施設として一定の水準を保つ必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 委託内容、委託先の見直しを必要に応じ行い、より効率的な管理を行うことで、改善の余地はある。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設管理をしている課室の類似事業と統合して契約・修繕などを行うことも考えられる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 業務委託についての契約金額は、業者間での競争の結果であり、適正な金額となっている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法により無料の原則が定められているため、受益者負担を求める事業ではない。

**3 計画の部(PPLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)  
 施設設備の機能を維持するために、総合管理委託、機械警備などを専門業者に委託しており、現在良好に管理している。  
 委託内容や委託料については、費用対効果や業務の必要性について、更新時の精査が必要である。

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 委託内容や委託料については、費用対効果や業務の必要性について、更新時の精査が必要である。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了    廃止    休止    統廃合    継続 (  見直し    現状維持 )

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	5月	26日
事務事業名	図書館運営事業				事業類型	管理・運営	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	平野 玉緒				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画 対象事業
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 07	事業名 図書館運営事業	根拠法令	図書館法	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
<b>事業概要</b>								
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。					【業務内容】 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行う。	開館日数	日	287	288	288	288	288	
	購入資料数	冊	8,535	7,575	7,500	8,000	8,500	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	来館者数	人	329,775	313,400	320,000	325,000	330,000	
	貸出資料数	冊	490,795	483,238	500,000	510,000	520,000	
	一人当たりの貸出資料数	冊	8.77	8.65	8.99	9.22	9.44	
(2)投入量の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	15,000	15,000	17,000	15,000	15,000	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	3	3	3	3	3	
	事業費計(A)	千円	55,566	54,988	54,702	57,091	57,091	0
人件費	正規職員	千円	5,660	6,530	6,530	6,530	6,530	1.10人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	5,660	6,530	6,530	6,530	6,530	
	投入量(A)+(B)	千円	76,229	76,521	78,235	78,624	78,624	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館、所蔵資料も増加し市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設になっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	資料のさらなる充実を望む意見や新規の利用者を増加させる取り組みの要望が寄せられている。また、市立図書館の資料検索端末の導入などらば一図書館との連携を望む声もある。							

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>図書館資料選定委員会を設置し、適正かつ計画的な資料整備を図った。 らぼーる図書室での図書館資料の返却受付を開始し、利用者の利便性を図った。</p> (予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 削減(事業費 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円) (人件費 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円)</li> <li><input type="checkbox"/> 増加(事業費 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円) (人件費 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円)</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</li> </ul>

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<b>■ 妥当である</b> <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育施設として一定の水準を保つ必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <b>■ 余地がある</b> (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 積極的に図書館から情報を発信(資料提供)することにより向上が図られる。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <b>■ 統廃合の余地がある</b> (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <b>■ 廃止・休止の可能性がない</b> <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性のある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はないので、統廃合の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<b>■ 事業費の削減余地がない</b> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <b>■ 人件費の削減余地がない</b> <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 正職員は総務的業務が主であり、専門的な図書館のカウンター業務、図書資料の選定は嘱託職員が業務を担っているため人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <b>■ 受益者負担を求める事業ではない</b> 図書館法により無料の原則が定められているため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <li> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合               <span style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →</span> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定  <input type="checkbox"/> 公平性の改善               </div> <span style="margin-left: 20px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善               </span> </li> <li style="margin-top: 5px;"> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)             </li> </ul> <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)            アンケートなどで市民の要望を知り、市民のための図書館づくりをすることにより、利用者の満足度をあげる。            新鮮な情報を収集、発信することにより、図書館の魅力をPRし、新たな利用者の開拓を図る。</p>	※担当課長、グループ長、担当者が記載
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )             </li> <li style="margin-top: 5px;">               改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)                アンケートなどで市民の要望を把握し、市民のための図書館づくりをすることにより、利用者の満足度をあげる。新鮮な情報を収集、発信することにより、図書館の魅力をPRし、新たな利用者の開拓を図る。図書館システムの契約更新時にはシステム内容を精査する。             </li> </ul>	※担当部長が記載
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )             </li> </ul>	
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <li> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )             </li> </ul>	

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	12日							
事務事業名	公民館施設管理事業				事業類型	管理・運営										
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G			記入者氏名	南波 三千代										
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画 対象事業								
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える														
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実														
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)								
<b>事業概要</b>																
【全体概要】 公民館施設及び設備の維持管理を行う。						【業務内容】 ・施設管理事務・管理委託等契約事務										
1 現状把握の部(DOシート)																
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移																
											単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)												
中央公民館施設及び各種設備				点検・検査・修繕の実施箇所数		件	28	25	20	20	20					
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
施設維持管理業務。各設備点検及び修繕を行った。				点検・検査・修繕の箇所数		件	28	25	20	20	20					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)												
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保つ。				点検・検査の実施率		%	100	100	100	100	100					
				苦情件数		件	2	0	0	0	0					
				利用者数		人	89,635	89,255	90,000	90,000	90,000					
(2) 投入量の推移																
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費								
事業 費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	内 訳	県支出金	千円	2,200	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	4,095	1,169	96	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	17,286	23,757	20,002	19,000	19,000	0	0	0	0	0	0		
事業費計(A)		千円	23,581	27,126	22,098	22,000	22,000	0	0	0	0	0	0			
人 件 費	正規職員	千円	8,505	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800		
	正規外職員	千円	4,554	4,000	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	13,059	10,800	10,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800		
投入量(A)+(B)		千円	36,640	37,926	32,898	28,800	28,800									
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																
①事業を始めたきっかけ		市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。														
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。														
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、利用者から「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見があった。														

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み														
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 平成26年度実施計画ヒアリングにおいて、平成27年度に計上していた調光装置修繕を取り下げ、公民館全体の修繕計画策定への移行を検討することとした。  (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円													
0	千円													
0	千円													
0	千円													
0	千円													
0	千円													

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき市が設置した公共施設である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要に応じて修理・修繕し、利用者が安心して使える施設管理をしている。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の維持管理は不可欠である。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の修理・修繕で対応している。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 平成26年度に定期利用団体に関する運営要綱を策定し、減免について明確化した。

3 計画の部(PLAN)																				
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化が進む中での維持管理であり、コスト削減等は望めない。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 良好な環境で施設を利用できるよう適正な保守・管理、計画的な整備を図る。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	12日			
事務事業名	学級講座開設事業			事業類型	イベント・行事・各種講座教室等						
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G		記入者氏名	南波 三千代						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	2 生涯学習活動の支援									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則				
		09	05	02	学級講座開設事業						
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 当事業では、生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつり中には、短期教室や映画会の開催もあわせて行っている。年度末に、学級の記録誌を発行している。				【業務内容】 ・学級講座の開設・公民館まつりの開催・映画会の開催・記録誌「ふれあい文集」発行							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市内在住及び在勤者(高校生以下は除く)から希望する者			受講者数			人	566	815	600	600	600
			映画会来場者数			人	150	828	200	200	200
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
募集要項各戸配布及びお知らせ版、那珂市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催した。年度末に「ふれあい」文集を発行した。			講座数			講座	17	13	15	15	15
			全教室の延べ開催回数			回	182	150	170	170	170
			公民館まつり体験教室数			教室	12	15	10	10	10
			映画会開催数			回	1	2	1	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
生涯学習へ取り組む意欲を向上させる。			受講完了者(7割以上出席者)の割合			%	99	98	95	95	95
			自主教室となった割合			%	25	0	20	20	20
(2)投入量の推移											
	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	1,055	904	1,149	1,055	1,055				
	一般財源	千円	727	971	1,266	1,322	1,322				
	事業費計(A)	千円	1,782	1,875	2,415	2,377	2,377				
人件費	正規職員	千円	5,953	4,730	4,730	4,730	0.70人	4,730	0.70人	4,730	0.70人
	正規外職員	千円	3,872	4,000	4,000	4,000	1.70人	4,000	1.70人	4,000	1.70人
	人件費計(B)	千円	9,825	8,730	8,730	8,730	8,730				
投入量(A)+(B)		千円	11,607	10,605	11,145	11,107	11,107				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		社会教育法の公民館が行う事業として、「定期講座を開設すること」に端を発する。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。									

**(4)前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み**

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？

(前回最終評価) 前回の評価結果を踏まえた見直し内容

- 終了
- 廃止
- 休止
- 統廃合
- 見直し
- 現状維持

アンケートの調査結果や前年の状況から解説講座を設定した。

(予算への反映)

- 削減(事業費  千円)  
(人件費  千円)
- 増加(事業費  千円)  
(人件費  千円)
- 反映なし

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

<b>目的 妥当性 評価</b>	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民に生涯学習の場を提供し、絆作りと活力あるコミュニティの形成を図る。
<b>有効性 評価</b>	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) より多くの市民が受講できる企画立案。自主講座への移行の支援。
<b>評価</b>	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき講座を開設している。生涯学習のきっかけづくりとして事業を実施している。
<b>効率性 評価</b>	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の人件費となっている。
<b>公平性 評価</b>	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 講師料は受講料で賄っている。教材費等は別途受講生の負担であり、公平かつ公正である。

**3 計画の部(PPLAN)**

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)  
市民ニーズに応える企画立案と生涯学習の推進。  
地域との連携・協働の推進。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)  
より多くに市民に参加してもらい、生涯学習に取り組む市民の増加を図れるよう、市民のニーズや社会環境に対応した講座の開設、工夫が必要である。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	3日			
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業			事業類型	管理・運営						
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G		記入者氏名	木内 忠						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
		09	05	04	歴史民俗資料館管理事業						
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
【全体概要】				【業務内容】							
・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。				・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
歴史民俗資料館設備、資料			開館予定日数	日	302	302	302	302	302		
			文化財資料数	点	1,320	1,330	1,330	1,330	1,330		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・民俗資料の保存管理を適切に行なう。			燻蒸回数	回	1	1	1	1	1		
			空調保守点検回数	回	1	1	1	1	1		
			消防設備保守点検回数	回	1	1	1	1	1		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料をださない。			開館日数	日	302	302	302	302	302		
			破棄資料数	点	0	0	0	0	0		
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,019	1,980	1,627	2,380	2,380	0			
事業費計(A)		千円	2,019	1,980	1,627	2,380	2,380	0			
人件費	正規職員	千円	1,080	0.30人	3,388	0.56人	3,388	0.56人	3,388	0.56人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,080	0.30人	3,388	0.56人	3,388	0.56人	3,388	0.56人	
投入量(A)+(B)		千円	3,099	2,280	3,254	4,760	4,760	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように適切に施設と資料を維持・保存管理していく。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実に努めてほしい。								

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)																
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	良好な状態で施設を利用できるよう適正な保守・管理に努めた。																
		(予算への反映)																
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、その活用を図り、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしてもらうための施設、設備などの管理は必要である。
有効性評価	② 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 施設の経年化で修繕費の増加が見込まれる。管理業務などの委託費がより複数年で契約ができれば、コスト削減につながる余地がある。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 類似事業はない。文化財の保護、調査及び出土品の適正な保存・管理等は行政の務めである。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 歴史民俗資料館管理・運営のほか、文化財保護、市史編さん、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低限の人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 事業の趣旨、事業の規模から、個人負担にはなじまない。

3 計画の部(PPLAN)																								
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	3日				
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				事業類型	管理・運営							
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G		記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画 対象事業						
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る										
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館運営事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例		
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)						
事業概要													
【全体概要】					【業務内容】								
・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。					・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。								
1 現状把握の部(DOシート)													
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移													
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
全市民				市民		人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100		
				文化財史資料		点	1,320	1,330	1,340	1,350	1,360		
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕				開館日数		日	302	302	302	302	302		
				常設展の資料点数		件	170	170	170	170	170		
				年間資料収集数		件	28	30	30	30	30		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらおう。				入館者数		人	17,281	15,852	17,000	175,000	18,000		
				文化財指定等数		件	84	84	84	85	85		
(2) 投入量の推移													
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0	0					
	一般財源	千円	7,948	8,769	8,892	8,900	8,950	0					
事業費計(A)		千円	7,948	8,769	8,892	8,900	8,950	0					
人件費	正規職員	千円	3,300	3,327	3,327	3,327	3,327	0.50人	0.57人	0.57人	0.57人		
	正規外職員	千円	840	840	840	840	840	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人		
	人件費計(B)	千円	4,140	4,167	4,167	4,167	4,167	4,167					
投入量(A)+(B)		千円	12,088	12,936	13,059	13,067	13,117						
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋げられるように資料を収集・管理していく。											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。											

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>案内板の設置や市のホームページの活用、マスコミ等への積極的なPRを実施した。また、市内の文化財や古文書等の収集及び適正な保存管理、展示に努めた。</p>															
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 5%; border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td style="width: 15%;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>
有効性 評価	② 成果の向上余地 <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) <p>同規模の近隣市町村の歴史民俗資料館と比べると、来館者数は極めて多い。ただし、初めての来館者については、資料館の場所がわかりにくいことから、さらに案内板の設置やマスコミ等への積極的なPRなど、周知に努めれば、さらなる来館者の増が図れる。また、今後とも、社会科授業の一環として、学校等へも積極的に働きかける。</p>	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) <p>季節展及び特別企画展については市ホームページの活用、マスコミ等への積極的なPRにより情報発信力を高める。案内板については分りやすいよう改修等を検討する。紹介ビデオのリニューアル等、見せる工夫が必要である。</p>	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	3日		
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	イベント・行事・各種講座教室等					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり							□ 実施計画対象事業		
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	2 伝統文化の活用と伝承									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 04	事業名 特別展開催事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。					<b>【業務内容】</b> ・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
・市民				那珂市の人口							
				人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100		
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・特別企画展「ちょっと昔のくらしとあそび」展 「那珂市の偉人4人」展				企画展等催し物開催回数							
・季節展 正月飾り展、雛人形展				回	5	5	5	5	5		
				講演会実施回数							
				回	7	7	7	7	7		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。				入館者数							
				人	17,281	15,852	17,000	17,500	18,000		
				歴史資産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合							
				%	93.27	94.63	95.00	95.00	95.50		
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	814	798	932	932	932	0			
	事業費計(A)	千円	814	798	932	932	932	0			
人件費	正規職員	千円	4,250	2,157	2,157	2,157	2,157	0.85人	0.39人		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人		
	人件費計(B)	千円	4,250	2,157	2,157	2,157	2,157	0.85人	0.39人		
投入量(A)+(B)		千円	5,064	2,955	3,089	3,089	3,089	3,089			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が増加している。・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さや案内看板の不備を指摘する声が多く寄せられている。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>(前回評価結果を踏まえた見直し内容)</p> <p>企画展などを開催し、市の貴重な財産を展示し、歴史的文化に親しむ講演会を行い歴史やそれに伴う文化財の保護意識を高めることができた。</p> <p>(予算への反映)</p> <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
<p><b>目的・妥当性評価</b></p> <p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市民の歴史文化への関心を高めることは、市の文化レベルの向上につながる。文化の香り高いまちづくりを提唱する那珂市にとって、企画展を開催し、積極的に歴史文化を周知し、次世代へ継承していく義務がある。また、文化財は、市の大切な財産であり、公共の立場でそれを守り伝えていくことが妥当であると考え。</p>
<p><b>有効性評価</b></p> <p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない      <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>企画展テーマや展示資料の内容を見直し、入館者を増加する可能性がある。</p>
<p><b>評価</b></p> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない      <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない      <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>歴史資料を扱うという特異な性質上、類似事業は考えられない。また、歴史や伝統文化啓蒙促進のため、企画展が小中学校の授業に取り入れられる場合もあり、学習支援活動も兼ねており、欠かすことのできない事業である。</p>
<p><b>効率性評価</b></p> <p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない      <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない      <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費は、これまで最低限の予算で展示を行ってきた。これ以上の予算削減は、企画展の存続が困難となる。人件費に関しては、職員が最低人数であたっている。また、展示には経験と知識が必要とされるため、アウトソーシングでは事業遂行は困難である。</p>
<p><b>公平性評価</b></p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求め事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である      <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求め事業ではない</p> <p>当館の趣旨、規模等を鑑みて、利用者からの受益者負担を求め事業ではない。</p>

3 計画の部(PPLAN)																						
<p>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → {           <input type="checkbox"/> 目的の再設定    <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善    <input type="checkbox"/> 効率性の改善  <input type="checkbox"/> 公平性の改善         }       </p> <p> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)       </p>																						
<p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)</p> <p>年々、来館者数は増加傾向にはあるが、企画展テーマ、展示資料の充実を図ることである程度入館者数増加を見込むことはできる。しかし、これ以上の展示内容及び大幅な来場者の増加を望むには、展示設備の改善が必要である。</p>	<p>改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
<p>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )       </p> <p>改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入)</p> <p>企画力を生かした特別展を開催し、より多くの人に那珂市の貴重な歴史資産、文化に親しむ環境・機会を整備する。展示設備の改善も検討すべきである。</p>																						
<p>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )       </p>																						
<p>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )       </p>																						

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	平成27年	6月	3日			
事務事業名	文化財保護対策事業			事業類型	委員会・審議会等						
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 05	事業名 文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例及び文化財保護条例				
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。				<b>【業務内容】</b> ・文化財保護審議会開催・資史料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
文化財、民俗資料 市民			保護すべき文化財、資史料数			点	1,320	1,330	1,330	1,340	1,350
			那珂市の人口			人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究			文化財保護審査会の開催 日数			回	1	0	1	1	1
			発掘・試掘調査件数			件	7	5	5	6	6
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
文化財としての資史料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。			文化財指定数			件	84	84	84	85	85
			指定文化財を知っている人の割合			%	60.98	61.00	61.50	62.00	62.00
			歴史資産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合			%	93.27	94.63	95.00	95.00	95.50
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)	千円	474	570	3,796	4,161	4,200	0				
人件費	正規職員	千円	1,800	2,480	2,480	2,480	2,480	0.43人			
	正規外職員	千円	860	860	860	860	860	0.50人			
	人件費計(B)	千円	2,660	3,340	3,340	3,340	3,340	0.93人			
投入量(A)+(B)		千円	3,134	3,910	7,136	7,501	7,540				
<b>(3)事務事業の環境変化・市民意見等</b>											
①事業を始めたきっかけ		市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 城跡などの保護・保存の整備、管理を図り、文化財の適正な維持保存を図るために、パトロールの実施や情報提供をしてもらい保護地に対する開発関係の情報等の把握に努めた。
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な埋蔵文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課が把握した開発情報を共有することにより、開発情報を入手することができる。県文化課指導による「埋蔵文化財専門員」を配置したことにより、埋蔵文化財の迅速・的確な保護活用が図られる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。休止・廃止は、貴重な財産である文化遺産・文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化財の維持管理に支障をきたす。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財の保護及び普及啓発費用であるため削減できない。文化財の内容にもよるが、保護には特殊技術を要することから、多くの経費を必要とする。調査等で、学術機関、市民団体等からの協力・支援が期待される。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 市内の土地の相談・照会・試掘調査を公費で行い、発掘調査についても予算計上している。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)  
 関係各課の開発情報等を常に把握し、文化財の適正な維持保存を図る。平成24年度より文化財専門員を配置している。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 文化財の適正な維持保存を図るため、文化財指定や包蔵地に対する開発関係の情報把握に努める。文化的価値の高い文化財については、保護・保存に併せて活用を図ることも重要である。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )



評価対象年度	平成26年度	事務事業評価シート				作成日	平成27年	6月	3日		
事務事業名	額田城跡整備事業				事業類型	管理・運営					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民像G			記入者氏名	木内 忠					
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業						
	施策名 5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る										
	基本事業名 1 歴史資産の保護保存										
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 05	事業名 額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例及び文化財保護条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。					<b>【業務内容】</b> 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間財等						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
額田城跡、市民、市外来訪者				市民		人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等				年間整備活動日数		回	37	37	40	40	40
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。				整備活動人数		人	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050
				歴史遺産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合		%	93.27	94.63	95.00	95.00	95.50
(2)投入量の推移											
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	5,000	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,931	646	3,000	3,000	3,000	0			
事業費計(A)		千円	6,931	646	3,000	3,000	3,000	0			
人件費	正規職員	千円	1,980	2,401	2,401	2,401	2,401	0.38人	0.38人		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人		
	人件費計(B)	千円	1,980	2,401	2,401	2,401	2,401	0.38人	0.38人		
投入量(A)+(B)		千円	8,911	3,047	5,401	5,401	5,401	5,401			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。									



評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	4日		
						点検日	平成27年	6月	19日		
事務事業名	城館跡調査事業				事業類型	補助事業					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G			記入者氏名	木内 忠					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 05	事業名 城館跡調査事業	根拠法令					
事業期間	□ 単年度のみ				□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		■ 期間限定複数年度 (平成25年度～平成28年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 那珂市城館跡調査事業を行い、地域の活性化と文化財を後世に継承する。					<b>【業務内容】</b> 茨城大学に委託し、那珂市城館跡調査事業を行う。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市内の城館跡数				市内の城館跡数	件	48	48	48	48	48	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
菅谷地区の城館跡を踏査し、記録に残す。				調査した件数	件	0	12	6	6	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
開発等で破壊される前に城館跡を調査・記録する。				記録として保存した数	件	0	12	6	6	0	
(2)投入量の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費			
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	762	3,003	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	1,578	772	772	0	0			
事業費計(A)		千円	762	4,581	772	772	0	0			
人件 費	正規職員	千円	360	2,017	2,017	2,017	0	0.10人	0.34人	0.00人	
	正規外職員	千円	545	0	0	0	0	2.00人	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	905	2,017	2,017	2,017	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	1,667	6,598	2,789	2,789	0	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		これまで開発されずに平地林となっていることから城館跡が保存されてきました。しかし、近年は開発がその地域にまで及びつつあるので、現況を調査する。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		住宅地と開発が進行する前にこれら城館の縄張り図を作成して往時の姿および一端を残していくこととした。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		貴重な歴史遺産を開発される前に調査・記録すべきとの声がある。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか? また、取り組み後どのように変わりましたか? 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか?	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか? ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか? ●民間事業者は類似の事業を実施していますか?	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な城館跡の調査は、公共が行う義務的業務である。 先人の残した文化遺産は貴重な財産であり、これを調査することは行政の責務でもある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか? ●成果が一部の対象者に限定されていませんか? ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか?	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課が把握した開発情報を共有することにより、開発情報を入手することができる。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか? ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか?	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか? ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか? ●事業目的にそぐわない支出はありませんか?	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遺跡の調査及び保護には技術と経験が必要であり経費がかかるが、委託方法の見直しにより削減できる余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか? ●受益者負担を求める事業ではない(負担割合が低い)事業の場合、その理由はなんですか?	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 文化財遺跡の地表調査であり、受益者負担を求める事業ではない。

### 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 宅地化などの開発が進む市街化区域及びその周辺地区の城館跡調査は、平成28年度には終了する見込みであり、残存する城館跡は調整区域がほとんどのため今後は、開発行為等に併せて調査を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	○																	
	低下																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 残存する調整区域の城館跡については、開発行為等に併せて調査を行う。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			

評価対象年度	平成26年度	<b>事務事業評価シート</b>				作成日	平成27年	6月	3日			
事務事業名	市史編さん事務費				事業類型	委員会・審議会等						
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画 対象事業					
	施策名		5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名		1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	06	事業名	市史編さん事務費	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び 専門委員設置規則	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b>						<b>【業務内容】</b>						
戦後69年が経過し歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。						貴重な遺跡等の文化財や、先人たちを広く市民に公開する。「那珂市ゆかりの先人たち」を刊行した。						
1 現状把握の部(DOシート)												
<b>(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移</b>												
						単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	
<b>①対象</b> (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						<b>④対象指標</b> (対象の大きさを表す指標)						
・全市民・市外訪問者(観光客)・郷土史研究者等・長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料						那珂市の人口	人	55,986	55,887	55,647	55,300	55,100
						考古及び史・資料	点	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
<b>②手段</b> (具体的な事務事業のやり方)						<b>⑤活動指標</b> (事務事業の活動量を表す指標)						
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。						市史編さん委員会開催回数	回	6	6	6	6	6
<b>③意図する成果</b> (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						<b>⑥成果指標</b> (対象における意図された対象の程度)						
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録に残す。						調査・解説考古・史・資料数	点	3,350	3,400	3,450	3,450	3,500
						市史等頒布数	冊	84	84	84	84	84
						歴史資産伝統文化を大切に と思っている人の割合	%	93.27	94.63	95.00	95.00	95.50
<b>(2) 投入量の推移</b>												
		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(計画)	29年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	52	280	156	157	158	0				
	一般財源	千円	1,382	1,096	1,364	1,363	1,362	0				
事業費計(A)		千円	1,434	1,376	1,520	1,520	1,520	0				
人件費	正規職員	千円	1,620	0.45人	1,170	0.19人	1,170	0.19人	1,170	0.19人	1,170	0.19人
	正規外職員	千円	989	0.50人	989	0.50人	989	0.50人	989	0.50人	989	0.50人
	人件費計(B)	千円	2,609	2,159	2,159	2,159	2,159					
投入量(A)+(B)		千円	4,043	3,535	3,679	3,679	3,679					
<b>(3) 事務事業の環境変化・市民意見等</b>												
①事業を始めたきっかけ			那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。									

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) ホームページ、市の広報をはじめ、新聞などにも掲載し周知を行い、多くの市民に知ってもらえるよう努めた。
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input style="width: 50px;" type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input style="width: 50px;" type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input style="width: 50px;" type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input style="width: 50px;" type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 過去から積み上げられてきた郷土の歴史を明らかにし、記録保存することは、過去から未来に向けての指針とすべきものであり、公共機関の役割である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史資料を整理・保存し、市民が関心をもつような内容、場所(場)を提供することで、市民についての興味を高める。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。過去の資料を解読して明らかにする作業は、膨大な時間を要するが、廃止すると消失しかねず、廃止休止すべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 資料の整理・解読作業は、人的作業であり多くの時間を必要とするため、省力化は不可能である。また編さんにかかる経費は、委員報酬が大部分であり、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 発行にかかる経費は、希望者への頒布により応分の受益者負担をお願いしている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	○																	
	維持		×																
	低下	×	×																
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市史の発刊については、市民によりわかりやすい内容とし、ホームページや広報による周知により多くの市民に知ってもらえるよう、また販売方法についても考慮する。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			